



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナボー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2015 Mar.

vol. 27

「FMもえる」と「プラチナの会」の交流に寄せて

プラチナの会 会員 (道民カレッジ生)

札幌市 三谷 馨



私は道民カレッジの学生であると同時に、自主学習サークル「プラチナの会」のメンバーとして、様々な講座を受講し、仲間と学びを深め、生涯学習をしています。

今回は、札幌にあります私どもプラチナの会が、留萌市のコミュニティ放送「FMもえる」と遠隔中継で行った交流会について、その取り組みをご紹介します。

まず、私どもプラチナの会についてご説明させていただきます。

道民カレッジで学習したことを踏まえた独自の活動が期待される中、道民カレッジ事務局との連携を図り、道民カレッジの具体的な振興策を目指して発足した学習グループです。永遠に輝くプラチナ（金よりも高価で永遠に錆びない）のように生涯学習を続けたいと願う中高年のグループで、メンバーは全て札幌に在住している道民カレッジの学生です。

一方、「FMもえる」は、留萌市の地域放送局で「マチの聴こえる回覧板」としてユニークな活動を展開して10年を経過し、この地域情報活動が中央でも注目、評価され地域づくり総務大臣表彰を受賞しました。また、FMもえるの運営には「FMもえるメンバーズクラブ」(FMC)のボランティアの皆さんが中心で、そこでは出会いや新たな交流が生まれています。

私がかねてよりFMCのメンバーで、FMもえるの番組にメッセージを送る等して運営をお手伝いしてまいりました。こういった繋がりもあり、プラチナの会の三大活動の一つには、「FMもえるとプラチナの会の連携講座の開発を試行する」というものがあります。その第一歩として、今回の「プラチナの会×FMもえる」の交流会を提案したのです。

当日は、道民カレッジ事務局保有の遠隔通信機を利用し、留萌にいるFMもえるの皆さんと、札幌にいるプラチナの会が、それぞれの土地にいながらカメラを通して交流をすることができました。

「FMもえる」から、地域に密着した10年間のご苦労された歩みを述べて頂きました。「留萌でラジオ局なんて無理」「なんでそんなことするの?」「好きな者で勝手にやらせたら」…そのような環境でスタートしたFMもえる。10年が経ちました。地域のための地域に向けた地域の放送、そして域内情報流通の活性化を目的とした「マチの聴こえる回覧板」。いま、留萌地域は全国各地から「地域力」の高さを評価されています。それは、FMCの一人一人が、この放送局を“自分事”として関わることで達成したものです。留萌初、留萌発の放送電波は、聴取範囲の3万人全員が、一度は出演するということを目指し放送を続けてきました。

これからも市民メディアとして「あなたと・あなたも・あなたの・あなたに・あなたが・あなたへ・FMもえる」をみんなでつくってゆきましょう！そして、FMもえる放送局を通して、留萌のまちづくりのため地域の情報を発信し続けて行きたいと力強い言葉を仰っていました。

我々プラチナの会からは、会の発足の意図と経過、活動内容、これからの抱負等を伝え、FMもえるの方々ともちづくりのための発展的なやり取りがあり、大変有意義な交流となりました。

最後は次回の開催を約束しお開きとなりましたが、この交流会を土台としてプラチナの会も連携講座等を視野に入れ試行しながら前へ前へと進んでいきたいと思います。



留萌会場のようす



札幌会場のようす

平成26年度称号取得者セミナーを開催しました

開催概要

1. 目的 称号取得者がこれまで学んできたことを活かし、講座を受講するだけでなく、熟識・グループワークをとおして他者と学習を進め、レポート提出というかたちで学習を振り返り、レポート集を読むことで他者の考えを知り、称号取得者としてのレベルアップ、及び今後の学習意欲の向上を図る。
2. 対象 称号取得者
3. 会場 かでる2・7 710会議室
4. 日程・内容【1回目】平成26年10月20日(月) 10:00~15:00
①基調講演「加齢に伴う健康課題とその背景」
講師：北海道教育大学岩見沢校 准教授 森田憲輝 氏
②グループワーク・熟識「自分達に何ができるのか」
【2回目】平成27年1月30日(金) 13:30~15:30
①レポート発表
②講師からの講評

道民カレッジの称号を取得すると、このように「称号取得者セミナー」へ参加することができます！ぜひ称号を取得してくださいね！



第1回目



第1回目に開講した基調講演の様子。

道内各地から、30名の称号取得者の皆さんが参加されました。

森田憲輝准教授（北海道教育大学）による基調講演の後はグループに分かれ、①自分・家族、②社会…という2つの視点で「自分達に何ができるか」を具体的に考え、発表していただきました。

第2回目



第1回目のセミナー終了後、事務局宛にレポートを提出された方の中から、代表して3名の方に発表をお願いしました。

◀丸尾清一氏
「札幌ぶらり散歩で健康維持を図る」

最後には、森田講師による補足講義と、レポート提出者全員へ個別のコメントが寄せられました。書いたレポートを講師に読んでいただき、コメントがもらえるのは嬉しいですね！



平成26年度学習成果実践講座を開講しました

学習成果実践講座in札幌

平成27年2月25日(水)実施



今年度の学習成果実践講座in札幌は「まちづくりの実践」をテーマに基調講演と実践報告をいただきました。

基調講演では、株式会社エフエムもえる代表取締役社長の佐藤太紀氏より「マチの聴こえる回覧板 エフエムもえる」と題し、FM放送で地域の情報を伝えることで、リスナーの方はもちろんパーソナリティの方も留萌のことを考え、それが結果的にまちづくりに繋がっていることをお話いただきました。

実践報告では、平成25年度道民カレッジ主催講座である「地域活動推進講座」に参加いただいた沼田町と鹿追町から2年目の活動について報告をいただきました。

それぞれのマチで実践されている様々な取り組みや地域づくりに関わる報告を聞くことで、今後私達にどんなことができるのかを考える契機となりました。

学習成果実践講座in帯広

平成26年12月14日(日)実施



帯広で開催した『学習成果実践講座in帯広』も早いもので継続して8年目を迎えた。やはり「学習成果実践講座in帯広」と言えば「帯広の森・森林浴」の学習を外しては、お話が続かない。それだけ「帯広の森」は市民に親しみがあり憩いの場でもある。

講師は、前回と同じく「森林セラピスト 佐藤 文彦氏（フレンズ十勝）」

今回の教本は、長年の経験と研鑽を含めた「一冊の本」を出版した「樹木気功法入門・樹には心と感情がある」である。教本には「一般参加者・道民カレッジ・フレンズ十勝」の会員と共に「帯広の森」で、樹木から学んだ数々の勉強風景も書かれており、わかり易くまとまり懇切丁寧に4時間の講座を盛況のうちに終了し、次回も楽しみな一日になりました。（フレンズ十勝会長 金田英男氏）

遠隔地との講座・学習会中継実績

カレッジだより24号（2013年9月発行）で、道民カレッジ事務局を受託する（公財）北海道生涯学習協会が、離れた町村へ講座を届ける「遠隔通信機」を導入したことをお伝えしましたが、その後、どのように活用しているのでしょうか…？

今号では、平成26年度に遠隔通信機を活用した実績をご紹介します！



遠隔通信機って？

「聴きたい講演が都市部に集中していて聴けない！」「地方の連携講座は少なく、カレッジ単位がなかなか取れない！」カレッジ生のみなさんから寄せられるこのようなご意見を真摯に受け止め、北海道の生涯学習の地域間格差を無くすため、インターネットを利用した遠隔通信機を導入しました。遠隔通信機を使えば、都市部に集中しがちな学習講座を、遠く離れた町村にも中継し、地域の皆さんが受講することができるようになります。

かでの講座



札幌市、美幌町、
稚内市と中継!!

●平成26年8月実施

「終活してますか？～エンディングノートの必要性～」
→道生涯学習協会（札幌市）×生涯夢の会（美幌町／道民カレッジオホーツク圏域ボランティア）

●平成26年11月実施

「知られざる北の国境」
→道生涯学習協会（札幌市）×稚内市立図書館（稚内市教育委員会）

●平成26年12月実施

「心臓病ってこわくないの？～三浦雄一郎氏エベレスト登頂を支えた経験から～」
→道生涯学習協会（札幌市）×生涯夢の会（美幌町／道民カレッジオホーツク圏域ボランティア）

大学間交流会



北翔大学、
北海学園大学と中継!!

平成26年10月実施

社会教育や生涯学習について専攻し学んでいる北翔大学と北海学園大学の学生が、それぞれのキャンパスにしながら通信機を通して交流を行いました。

大学でどんなことを学んでいるのか、どんな実習をしてきたのか…同じ分野を学んでいても、大学によって内容に特色があるようで、お互いに大きな刺激を受けていたようです。

「色々な学習講座を自分達で立案していると聞き、面白そうだと思った。」「私たちの大学にはない考え方を知ることができた。」「今度はぜひ直接会って交流したい。」という声も寄せられました。

FMもえる×プラチナの会 交流会

平成26年12月実施

留萌市の地域コミュニティラジオ「FMもえる」の皆さん（留萌市）と、道民カレッジ自主学习サークル「プラチナの会」の皆さん（札幌市）が、お互いの地域にしながら通信機を通して交流を行いました。詳細は、p1の巻頭言を参照ください。

札幌市、
留萌市と中継!!

大学インターネット講座学習会出前講座

平成27年2月実施

「コミュニティ・カフェが北海道を変える？ 一地域が元気になるために」
講師：菅原浩信教授（北海学園大学）

大学インターネット講座担当講師による出前講座を、苫前町公民館で開催。札幌にも同時中継されました。

札幌市、
苫前町と中継!!

平成27年度道民カレッジ主催講座のご案内

①「ほっかいどう学」大学インターネット講座

（参加予定大学 / 五十音順）

- 札幌大学・北翔大学・北星学園大学・北海学園大学・北海道医療大学
- 北海道教育大学・北海道情報大学・北海道大学

※ 講座テーマ、講師については、追って道民カレッジホームページ等でご案内致します。

②「ほっかいどう学」地域活動推進講座

（開催市町村）

- 南富良野町・江差町

写真提供：ベイスイメージズ





平成26年度「道民カレッジ」アンケートを実施しました!!



【趣 旨】 道民カレッジ事業の運営に反映させるため、道民カレッジ事務局が年1回実施

【対 象】 道民カレッジ生 150名

(称号取得者50名、称号取得者を含まない道民カレッジ生100名)

【調査方法】 調査票によるアンケート形式の自記入調査法

【実施期間】 平成26年12月9日～平成27年1月9日

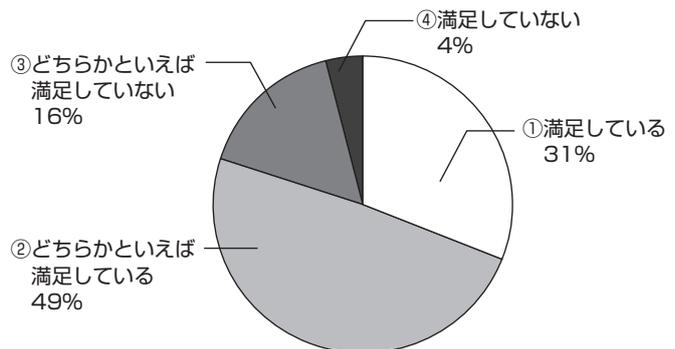
【回 収 数】 回収数49名 (回収率 32.7%)

男性34名 (69.3%) 女性15名 (30.6%) 平均年齢67.9歳

今回、新たに質問した内容について少しご報告させていただきます!!

1. 道民カレッジでの学習活動に満足していますか。

| | |
|------------------|-----|
| ①満足している | 14人 |
| ②どちらかといえば満足している | 22人 |
| ③どちらかといえば満足していない | 7人 |
| ④満足していない | 2人 |



①・②と回答した理由

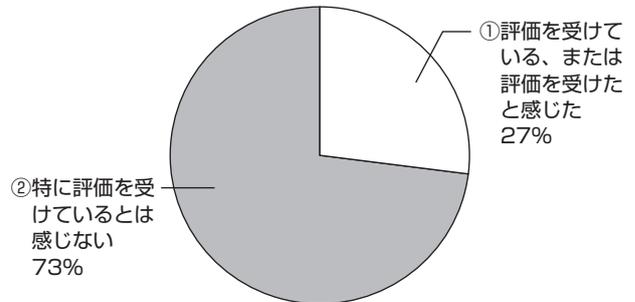
- ・学びたいと思う講座がわりと安価で学べる。
- ・講座内容が多岐にわたっている。
- ・興味をそそられるものがある。

③・④と回答した方

- ・地方での講座が少ない。
- ・必修科目を受講できていない。 ※学習機会の地域間格差が課題

2. 道民カレッジで身につけた知識等が社会的評価を受けていると感じますか。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ①評価を受けているまたは評価を受けたと感じたことがある | 11人 |
| ②特に評価を受けていると感じたことはない | 30人 |



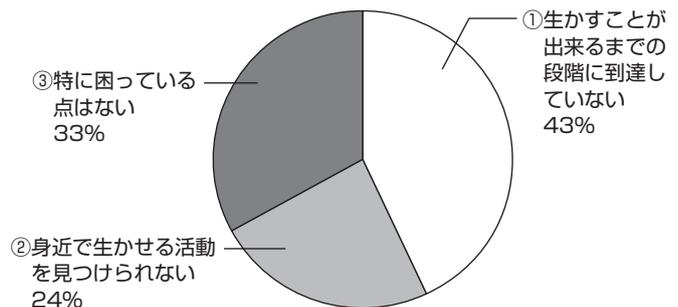
①と回答した理由

- ・知人にはよく物事を知っているねと言われる。
- ・地域活動をしている時に活用される。

※学習したことが評価されるような仕組みづくりが必要

3. 身につけた知識等を仕事や地域活動に生かすにあたっての課題はありますか。

| | |
|-----------------------|-----|
| ①生かすことができる段階まで到達していない | 20人 |
| ②身近で生かせる活動を見つけられない | 11人 |
| ③特に困っている点はない | 15人 |



※身につけた知識をどう生かしていくのかという次のステップへの働きかけが必要

最近の

道民カレッジ事務局



道民カレッジの歴史展を開催しました



平成26年1月5日（月）～1月30日（金）まで、道民カレッジ事務局併設のまなびの広場において、道民カレッジの歴史展を開催しました。

開催期間中に広場を訪れた方は9,007名！

歴代のカレッジポスターや、入学者数、称号取得者数の推移グラフなどを展示し、道民カレッジ事業についてご案内することができました。

ちなみに…

来年度は
道庁本庁舎ロビーで
歴史展開催予定!?

専門コースのひとつに「ジュニアコース」が誕生！

平成27年度の道民カレッジからは、従来の5つの専門コースに加え、6つ目の専門コース「ジュニアコース」が追加となることが決定しました。

これは、小中学生（ジュニア）の道民カレッジ生が受講する講座のコースのことで、今後は、小中学生の道民カレッジ生、そして称号取得者が沢山現れてくることでしょう！

最終回は 苫前町で開催!!



苫前町での出前講座のようす



最終回は、講座担当講師が直接講座を行う出前講座として、苫前町で開催されました！

学習活動にお役立てください

* 付属視聴覚センターより *

視聴覚センターでは、学習に役立つ一般視聴覚教材を無料で貸出しています。

詳しくは、北海道立生涯学習推進センター付属視聴覚センターのホームページをご覧ください。

例えば…

○【新着教材】

「阿藤快のあっ、と撃退！悪質商法 お年寄りを守るご近所の力」
悪質商法の被害にあわないための方策を、DVDでわかりやすく、楽しく紹介されています。

レファレンスコーナーのモニターが、ブラウン管から液晶に変わりました。
ぜひご利用ください♪



新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (8000単位取得) ●

榎本 聰子 (札幌市)

● 学長奨励賞 (3000単位取得) ●

田中 裕史 (帯広市)

● 学長奨励賞 (2000単位取得) ●

中塚 豊 (札幌市)
坂本 繁光 (音更町)

山田 紀子 (旭川市)
三谷 馨 (札幌市)

大方 英雄 (旭川市)
牧田 武治 (札幌市)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●

今野 武藏 (美瑛町)

紺野 秀子 (帯広市)

北口 清美 (札幌市)

● 博 士 ●

山田 紀子 (旭川市・教)
石川 弥一 (札幌市・健/教)
林 芳男 (札幌市・能)
太田 順治 (札幌市・ほ)
林 葵 (帯広市・教)
伊藤 義孝 (芽室町・教)
木下 睦子 (札幌市・健)
山崎 繁光 (室蘭市・健)
福田 寿子 (美幌町・教)

平井 文雄 (札幌市・環)
由田 笑子 (札幌市・環)
武佐 博 (江別市・ほ)
鈴木 正義 (旭川市・教)
松田 幸雄 (帯広市・健)
窪 隆是 (札幌市・教)
嘉藤 裕一 (札幌市・教)
田中 裕史 (帯広市・健)
伊藤 正一 (札幌市・ほ/教)

本間 清通 (札幌市・ほ)
坂本 繁光 (音更町・能/健)
平川 省三 (滝川市・環)
松浦 数義 (札幌市・能)
北口 清美 (札幌市・環)
奥野 功 (札幌市・ほ)
阪 正二 (札幌市・ほ)
堀北 真吾 (札幌市・環)

● 修 士 ●

山田 紀子 (旭川市・教)
松浦 数義 (札幌市・教)
平川 省三 (滝川市・環)
北川夕起子 (札幌市・ほ)
林 葵 (帯広市・健)
小山 孝 (札幌市・教)
嘉藤 裕一 (札幌市・教)
宇賀 邦久 (札幌市・能)

千葉 節子 (美幌町・教)
斎藤 康博 (江別市・ほ)
鈴木 正義 (旭川市・教)
北川 孝志 (札幌市・ほ)
北口 清美 (札幌市・教)
滝沢 秀人 (札幌市・能)
阪 正二 (札幌市・環)
鈴木 正子 (札幌市・教)

石川 弥一 (札幌市・健/教)
渡邊 敏夫 (七飯町・教)
紺野 秀子 (帯広市・環/健/教)
天池 一宣 (中富良野町・ほ)
伊藤 義孝 (芽室町・環)
古屋 道義 (旭川市・教)
山崎 繁光 (室蘭市・健)
伊藤 正一 (札幌市・教)

● 学 士 ●

山田 紀子 (旭川市・教)
坂本 春恵 (音更町・能)
平川 省三 (滝川市・環)
船田 公正 (札幌市・教)
横井志以子 (北広島市・ほ)
井上 三男 (苫小牧市・ほ)
窪 隆是 (札幌市・ほ)
松下 芳子 (江別市・ほ)
阪 正二 (札幌市・環)
佐々木史江 (帯広市・教)

白澤 一夫 (札幌市・ほ)
猿田 勤 (釧路市・ほ)
伊東 恒子 (札幌市・教)
八重樫政紀 (滝川市・教)
林 千恵子 (札幌市・教)
伊藤 正憲 (旭川市・教)
牧田 武治 (札幌市・能/健)
嘉藤 裕一 (札幌市・教)
山崎 繁光 (室蘭市・能/健)

三谷 馨 (札幌市・能)
稲垣 善信 (江別市・教)
紺野 秀子 (帯広市・能)
林 葵 (帯広市・能)
岩崎 信子 (帯広市・環/教)
白澤小夜子 (札幌市・ほ)
町中 豊 (札幌市・能)
宮内 敏文 (札幌市・ほ)
宇賀 邦久 (札幌市・能)

*称号取得の方法や手続きに関するお問合せは、下記の道民カレッジ事務局まで、お気軽にご連絡ください。

なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。

(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

| 学 士 | 修 士 | 博 士 | 学長奨励賞 | | | | | | | |
|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 1000単位 | 2000単位 | 3000単位 | 4000単位 | 5000単位 | 6000単位 | 7000単位 | 8000単位 |
| 706人 | 493人 | 395人 | 85人 | 31人 | 8人 | 4人 | 2人 | 1人 | 1人 | 1人 |

カレッジだより Vol.27

平成27年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局〔(公財)北海道生涯学習協会〕

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664

URL <http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/>

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

twitter <https://twitter.com/doumincollege>

● 道民カレッジ事務局から

1. 道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局あてお知らせください。
 2. カレッジだよりでは、道民カレッジ生のみなさんからの郵便りを募集しています。「私が実践している生涯学習」や「道民カレッジでこんな体験をした!」など、どのようなことでも結構です。お気軽に事務局までお送りください。(お送りいただいた原稿は返却いたしません。ご了承ください。)
- 紙面でご紹介させていただく場合がございます。